

# すぎなみ大人“熟”してる？

Jukusiteru? TIMES'15

平成28年1月16日発行  
発行元：塾熟出版（事務局）

東京都杉並区梅里 1-22-32(社会教育センター内) TEL 3317-6621 FAX 3317-6620

## 卒塾号

大人のまちの楽しみ方



12月12日

アソビノベーションコース  
受講生19名

### 当日の流れ

- ・「アソビノストリート」ふりかえり
- ・講座全体ふりかえり
- ・アソビノベーション宣言

## 最終回 さあ、次が始まるぞ！

▼「アソビノストリート」発表！…12月6日に和田堀公園で催された「ぐりとぐら企画」の発表から講座はスタート。ストレンジャーと関わる仕掛けとして「知り合いの知り合いを呼ぶ」「巨大ハンバーガーをつくる」「豚汁をふるまう」を決定し、公園の人達と交流をもった。

その後は「アソビノベーション動画づくり」の発表へ。これまでの編集バージョンと、朝に撮ったホヤホヤの映像をみんなで鑑賞し、ラストシーンにはみんなほっこり。



▼いよいよ最後…講座全体を通した振り返りでは「大人が街で主体的に遊ぶために大切なこと」「自分にとって印象的だった経験」「大人塾で学んだこと」を考え、これから「遊び」をどのような局面で何にどう活かすかの意気込みを「アソビノベーション宣言」として各自発表した。（記事：瀬山）

## アソビノベーション宣言



- ・若い人の中に入れていただいて生き生きとできた自分がいた。これからも入れて頂き水を得た魚のように生きたい。
- ・日常の中に遊びの要素をしのばせる「これ、どうしたらもう少し面白くなるんだろ？」
- ・人生＝遊び（生活の中にアソビを！）
- ・あいまいなところを残して遊びたい。



- ・何でも「遊び」になるとわかったので、こわくても、先がどうなるかわからなくても何かやってみたい！
- ・“あそぼう”っていい
- ・人を数珠つなぎにつなげていけたら面白いな
- ・遊びは生きる力。みんなで楽しく遊ぶ
- ・その人がその行動に及んだ心の背景にも思いを馳せたい
- ・自分が主役であることをもうちょっと理解したい
- ・違う個性同士をMIXする。



### HIROISHI TAKUJI

私たちは、目的に向かって合理的に進むことが“正しい”と考えがちです。しかし、このテーマは、目的とその達成プロセスが明確であることを前提としています。これから私たちは、何が目的なのか、どの目的が良いのか、目的の達成プロセスは何か、から問われる時代を生きなければなりません。その時、今ある目的や合理性に縛られない“遊び”が必要になります。



大人塾修了後も、遊んでください！そして、自分は何が楽しいのか、何のために動きたいのか、どう人とつながっていききたいか、自分や周りの人と対話を重ね、楽しい人生を過ごしてくださいね！



### SAITOU SHINOBU

おもしろきこともなき世をおもしろく。自分が楽しくないと生きづらいことを、世の中のせいとか他人のせいにしないで、自分の責任で生きて行くっていうのは、しかし、なかなか難しいものです。でも、だからこそ、他者と一緒に生きることが、もっと大事だと思います。

他者と一緒だからこそ、自分を発見したり、前向きになったり、チャレンジしたり振り返ったりできる。それでこそ、「ひとりで」生きられるようになる。その「逆説を積極的に生きる」っていうことが、いまのわたしにとっては、きっと最大の遊び。さてさて、ご一緒にいかがですか

# だがしや楽校deワクワク大作戦 ～ゆるく楽しく地域とつながろう～

最終回

## だがしや白熱楽校Ⅱ 続・これからの生き方を語り合おう

だがしや楽校コース  
12月12日  
参加者 22名  
一般参加者 12名

だがしや楽校コースも、いよいよ最終回。今回は、8月に引き続き東京大学大学院教授・牧野篤先生による特別講座第2弾！！これからの社会で地域に根ざして活動していくことの意義を、実践事例と共にお話しいただいた。

### 牧野流・元気な大人と地域のつなぎ方

シニア世代は「趣味・仕事・健康・ボランティア・家族」という5つの関心事があり、そこに共通しているのは、それらを通して人間関係をつくりたい、社会の役に立ちたいと思っているということ。牧野先生は、仲間作りを兼ねた学習講座→自分たちで講座運営→自主グループ化して地域活動につなげる、というセミナーを運営し、こうした思いに応えている。参加者は、好きなものや楽しむ

ことを通して人々や社会とつながり、自分が認められるという生きがいを感じているという。

牧野先生は、これからの子どもたちの教育を支え、ひいては地域社会を作っていくには、こうした元気な大人の力が必要だと話す。これからは、子どもが自ら考え、人生設計できる力を引き出す教育が求められており、それには小学生の時から地域と関わり合うことが重要なのだという。そこで地域活動に積極的な大人たちが、子どもたちと地域をつなぐ役割を担い、活躍することが大いに期待されているのだという。牧野先生のお話は、皆さんにとって、ご自身の活動が社会をつくる無限の可能性を感じさせるものだったのではないだろうか？

### 卒塾後、さらにその先の生き方について考えてみよう

後半は松田先生の進行で、「これからあなたはどう生きたい？」というテーマでグループ討議&発表をおこなった。黒板に貼り出された皆さんの言葉は、仲間作り、多世代交流、趣味を楽しむ等・・・そこに共通するのは、「誰かとかかわって生きていきたい」という思いだ。豊かな個性と経験が出会い、つながり、さまざまな可能性を拓いた「だがしや楽校」。卒塾後も、地域の人・ものと、楽しみながら、ゆるやかに繋がって行きましょう！（文：遠藤）

### 学習支援者・補助者からのメッセージ

#### 松田道雄さんより

ご卒業まことにおめでとうございます！今年度、みなさまが実践体験なされた2回のだがしや楽校は、まさにみなさまのこれからの人生にとっても、これからの超長寿社会にとっても大変意味のあるトライアルではなかったかと存じます。

1回目は小学校で子どもたちと、2回目は福祉施設で。人は、何かにか体験や活動を介して人とかわります。人はただ生きるために生きていくのではなく、自分の関心事を披露して反応をもらったり、だれかが喜ぶ顔を見て自分も喜んだり、だれかとともに共感を紡ぎながら生きる豊かさをふやしています。どうぞ、受講ご縁のみなさま仲間、これからもだがしや楽校「おみせ開き」を通して人生の豊かさづくりを育ててください。講座途中、私事病入入院のために後半参加できませんでしたことをお詫び申し上げます。みなさまの多彩な個性の相乗効果に感動しています。私もその一員に加えていただけたら幸いです。

#### 谷原博子さんより

#### おとなのアクティブラーニングはすごいぞ！

小学校でも、主体的に問題解決をしていく能動的な学習「アクティブラーニング」への転換が進んでいます。今年度の講座では「すごいぞ！おとなのアクティブラーニング」と思ったことが何度もありました。

2回目のだがしや楽校出店計画をゼロから話し合ったとき、自由な発想が温泉のごとく湧き出し、最終的には意見の集約にまで辿り着きました。あのときに出た「おとなの運動会案」。特産の野菜をかごに入れ数を競う、それで料理をしてたべようという、今でもやってみたいと思うアイデアでした。豊かな経験から知識伝達や注入をしながらも課題解決を楽しみながらやりとりできる大人だからできるすごさです。

卒塾おめでとうございます。

牧野先生流 Aging in Place Living in Place and Loving it in Place  
このメッセージとともに皆様の卒塾を心からお祝いいたします。